

配属を強化

井部長は「監視能力を最大限に活用し、関係機関を一層緊密な

のにし、八重山の安全と発展のために努力する」と話した。

式終了後、中山船長は尖閣専従体制には含まれないが、一般業務とともに対応する。乗組員たちと一丸となって島民、国民のために尽力する」と抱負を述べた。

運輸事務所が街頭検査

事務所八重山運輸部の自動車街頭検査、市内八島



地区で行われた。同事務局によると、検査した車両179台中、整備不良21台、車検切れ2台を確認したと写真。

関係4団体を含む総勢19人に対応した。国道390号を通る車両のドライバーを警察官が呼び止め、登野城漁港施設用地へ誘導。その後、県自動車整備振興会八重山支部のメンバーらが車両をチェックした。

検査内容は▽灯火関係▽着色フィルムの違法貼り付け▽タイヤ・ホイールの車体はみ出しなど。整備不良車や不正改造車がないか点検した。今回の検査には前年度に引き続き可搬式ナンバー自動読み取り装置を導入した。

同事務所は「日常点検や定期点検は車のトラブルを防ぐだけでなく、安全と環境保全にもつながる。日頃から車の健康管理を心掛けて」と呼び掛けた。

同検査は運転手に対し自動車安全性の確保などを呼び掛けることが目的。今年度は10月にも実施した。

白保リゾートホテル問題連絡協議会アンケート結果

白保リゾートホテル問題連絡協議会（山城博会長）は17日、白保地域で主に観光客を対象に行った景観に関するアンケートの結果を、しらほろ村で発表した。18日、要望書として石垣市に届ける。

アンケートからは、およそ半数の回答者がサンゴ観賞以外に、集落景観にも魅力を感じて訪れていることが分かった。集落周辺の農村景観を将来にわたって残してほしいと希望する回答も目立った。持続的な観光経済の基礎となるリピーター客の獲得・維持には景観保全の重要性が浮き彫りになった。

協議会では今後の課題として▽リピーター確保による「持続的な観光」の確立▽観光客が求める沖縄らしさの景観保全策の充実▽都市計画と観光振興、景観保全の整合性ある計画の立案▽観光客数増加を目的としない市民のための多様な地域景観の維持などを挙げている。

同協議会は「県や市の景観行政や観光行政の間でギャップがある。白保の取り組みを市民全体で共有し、特色ある各地域の景観保全が都市計画行政と連携することを願う」としている。

アンケートは、観光による開発圧力が高まる中、県や市の重要施策である観光振興や景観行政に役立てることを目的に、観光客の視点から白保地域の魅力と価値を明らかにしようと実施された。地域の宿泊施設やエコツアー事業者、カフェなどを利用した客を対象に行い、7月1日から16日までに336の回答が得られた。

ス八重山の応募PR

0年41代ス八重山星、星の砂、サンゴの3人が選

1日開始されたのを受

人前で喋るのは苦手だったが、国内外のステージやラジオ、テレビに出演させてもらい、苦手だった部分を克服でき大きく成長できた。サンゴの名幸田梨奈さん(24)は「島外での観光イベントに参加し、たくさんの方と出会えた。地元の

2019.12.18

八重山毎日